

## 第255回

## 荒川の人

ACC30th  
ANNIVERSARY  
ACC30周年記念

荒川区にゆかりのある人にスポットを当てた『荒川の人』。これまで『荒川の人』で荒川の街にまつわるエピソードを披露してくださった方々は30年で総勢252名にものぼります。節目となる30周年を記念し、過去に登場した“あの人”にアンコール。

多才にして多彩。心の声に耳を澄ませ  
型にはまることなく、我が道を突き進む。

俳優・画家 片岡鶴太郎さん

【プロフィール】昭和29年12月21日生まれ。都立竹台高校卒業後、片岡鶴八師匠に師事。「オレたちひょうきん族」(フジテレビ)でお茶の間に浸透し、一躍人気者に。幅広いキャラクターを演じる役者として活躍するかたわら、平成7年には初の個展となる「とんぼのように」を開催。平成29年、インド政府公認プロフェッショナルヨガ検定に合格。インド政府よりヨガマスター、ヨガインストラクターの称号を授与される。太田プロダクション所属。



お笑い芸人としてバラエティー番組でキャリアを積んだ後、俳優・画家・ヨーギー(ヨガをする男性)など、多彩な分野で才能を開花させた片岡鶴太郎さん。自分の直感を信じ、情熱を傾ける姿は、しばしば紹介され、話題を集めています。時に真剣なまなざしで、時にジョークを交えながら、これまでのことや、これからのことについて語っていただきました。

可憐に咲く椿に魅せられて  
独学で飛び込んだ画の世界

隣家の庭に咲いていた椿の花に心を奪われ、どうにかしてこの美しさを表現したいという一心で飛び込んだ墨彩画の世界。画家としての活動もまもなく四半世紀を迎えようとしています。

「画を描いている時の頭の中はからっぽ。完全に『無』の状態です。それでも時々気持ちが乗らず、自分の納得がいくものが描けないこともありますよ。アウトプットがうまくできない時は思いきって筆を置き、インプットする方向にスイッチを切り替えます。たとえば画集を眺めたり、録画していた番組を見たり。とにかく気分転換。好きでもない人に『好き』とは言えないように、嫌々やってもいい作品にはなりませんから」

常に実験的な試みを繰り返し、試行錯誤の末に身につけた独自の創作スタイル。描き始めた頃は、魚をモチーフに描くことが多かったそうですが、近年は風景画にも挑戦するように。先頃、赤く染まった富士山の大作を完成させました。

現在は墨彩画の枠を飛び越え日本画、油絵、版画、着物の染色、陶芸など、さまざまな分野でその才能をいかんなく発揮。年間300点以上もの作品を次々と生み出しています。

「創作活動の原点でもある椿をさまざまな手法で表現してきましたが、心の底から満足できる域に到達するまでには、まだまだ道半ばですね」

荒川区役所の正面玄関には、果敢な挑戦を続ける鶴太郎さんの墨彩画「鷹鷹」が飾られています。

ヨガがもたらす代えがたい幸福感  
持ち前の集中力で快挙を成し遂げる

鶴太郎さんとヨガとの出会いは今から7年前、57歳の頃。俳優の秋野太作さんに勧められた瞑想を入りに、その魅力に引き込まれていきました。現在は仕事に出かける時間から逆算して起床し、ヨガを行う生活を送っています。たとえば朝8時に外出する日は夜中の1時に起床。そこから4時間ヨガを行い、朝食を2時間かけて、ゆっくりといただいた後に身支度を整える、といったルーティンを生活に組み込んでいるそうです。

「60歳を目前に自分の中に核となる人生の哲学を持ちたいと思っていました。慣れてくると、これ以上のものはないと言えるほどの幸福感で心身が満たされるようになってくるんです。苦しい、つらいと感じていたら、こうした生活は続いていなかったと思います」

また、一日の中で唯一の食事でもある朝食の時間が至福のひと時だと、鶴太郎さんは言います。この日もご自分で調理した「ひよこ豆とアボカドのサラダ」、[花にらのお浸し]、[ごぼうの素揚げ]など7、8品の料理を玄米と一緒にいただいてきたそうです。

昨年、世界中にさまざまな形で広がるヨガの品質を保つために制定されたインド政府公認プロフェッショナルヨガ検定に合格。試験形式は実技と筆記で出題範囲が多岐にわたるうえ、 Sanskrit 語で出題されるということもあり、日本人には言葉の壁が大きく立ちほだかります。

「ダメもとで受験を決意したのが昨年のお正月の頃。試験が行われるのが2月でしたから短期間で受験勉強に取り組むことになりました。こんなに勉強した経験は高校受験以来じゃないかな(笑)」

そして迎えた2月の試験。指定されたポーズを行い、その効果などを問う実技には合格したものの、筆記は60

問中7割以上正解で合格のところ、わずかに点数が届かず惜しくも不合格に。

「まったく手応えはありませんでしたが、予想以上に点数がとれたので、次の試験に向けて俄然やる気が湧いてきました」

忙しい仕事の合間を縫って毎日2～3時間の受験勉強。5月に行われた試験で晴れて筆記試験に合格すると、多くの人たちにヨガの本質を広めるヨガ親善大使にも就任しました。

たくさんの出会いと縁に感謝  
日暮里の街で育まれた芸と心

荒川区観光大使のひとりでもある鶴太郎さん。日暮里での懐かしい少年時代の話になると、途端にいたずら少年だった頃の面影をのぞかせます。

「当時は、あちこちに釣り堀屋があって、よく釣りに行ったもんです。父親は落語、母親は芝居が好きでね。父親には小学校低学年の頃から毎週のように寄席に連れて行かれましたよ」

先日、「時そば」をアレンジした演目で三十数年ぶりとなる落語を観衆の前で披露したそうです。

「たくさんの人との出会いがあったからこそ、今の自分があると思っています。生まれ育った荒川区のために協力できることがあれば、ぜひ力になりたいですね」

鶴太郎さんのこれからの目標は自分の好きなことを突き詰め、125歳まで生きること。心の声に耳を傾けながら、我が道を邁進し続けます。



前回は平成3年3月号に登場。「この頃はまだ太っていたなあ」と、27年前の写真を見て、鶴太郎さんも苦笑い。

## この世界逃れあたわざるもの

ひとつは **死** (肉体と魂) ひとつは **税金** (徴収と使途)

## みんなで考えよう人間の命と税金!!



嘘でもいいから  
「ありがとう」と言おう

税理士/行政書士/再生コーディネーター

伊坂会計総合事務所

荒川区南千住5-9-6 / ホームページ: <http://isaka-office.biz/>  
/ Eメール: [isaka\\_office@yahoo.co.jp](mailto:isaka_office@yahoo.co.jp)

TEL 03-3802-1418 (代) 職人税理士34年 伊坂かつやす

## ほっとタウン 掲載広告募集!

ACC 公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団情報誌に広告を掲載しませんか?  
毎月1日発行(76,500部)。荒川区全域に新聞折込及び  
駅広報スタンド、荒川区内施設窓口等に設置しています。

【大広告】全頁フルカラー印刷

タイプ	サイズ	広告料[2面~7面]	広告料[8面]
A	タテ88mm×ヨコ 63mm	35,000円	40,000円
B	タテ88mm×ヨコ127mm	70,000円	80,000円
C	タテ88mm×ヨコ254mm	140,000円	160,000円
D	タテ43mm×ヨコ127mm	35,000円	掲載不可

↓お得な広告枠ができました。お気軽にご連絡ください。↓

E	タテ50mm×ヨコ 63mm	15,000円	掲載不可
---	----------------	---------	------

版下作成サービス(無料)/連続掲載割引制度あり

お問合わせ・広告掲載申込 ACC文化事業係 ☎3802-7111